



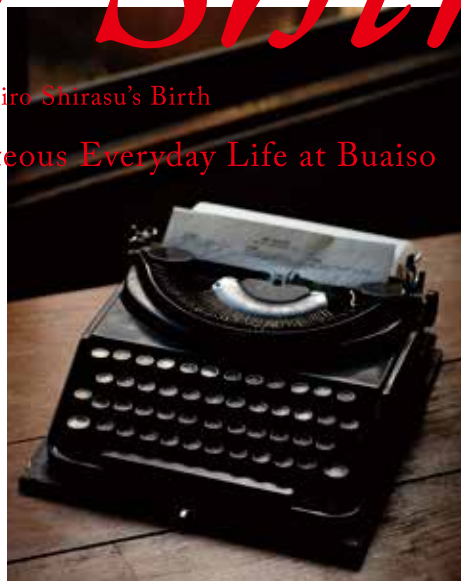
Jiro Shirasu And Masako Shirasu

かごしま近代文学館特別企画展 白洲次郎生誕120周年記念特別展

白洲次郎・白洲正子
武相荘折々のくらし

Special Exhibition to Commemorate the 120th Anniversary of Jiro Shirasu's Birth

Jiro and Masako Shirasu Their Beautiful Everyday Life at Buaiso



2022年
10月28日(金)～11月28日(月)

会場—かごしま近代文学館(2階文学ホール)

休館日— 火曜日 開館時間— 9時30分～18時(入館は17時30分まで)

観覧料— 一般600円(500円)/小・中学生300円(200円)

※常設展示もご覧になれます。 ※()内は20名以上の団体料金

撮影・浅井佳代子 [上段左から]イヴ・サンローラン マント/北大路魯山人作 鑄絵鳥文皿/榎野文平作 ウィンザーチェア、ミッソーニ製ジャケット/古代ガラス指輪 [中段左から]瀬戸麦藁手蓋付飯茶碗/次郎が使用していたオリベッティ社製タイプライター/織・田島隆夫作 染・古澤万千子作 袖辻ヶ花文胸服 [下段左から]漆絵傘文丸盆/富本憲吉作 色絵四弁花模様箱/ハウンド・トゥース・チェックのツイードジャケットとハンチング帽

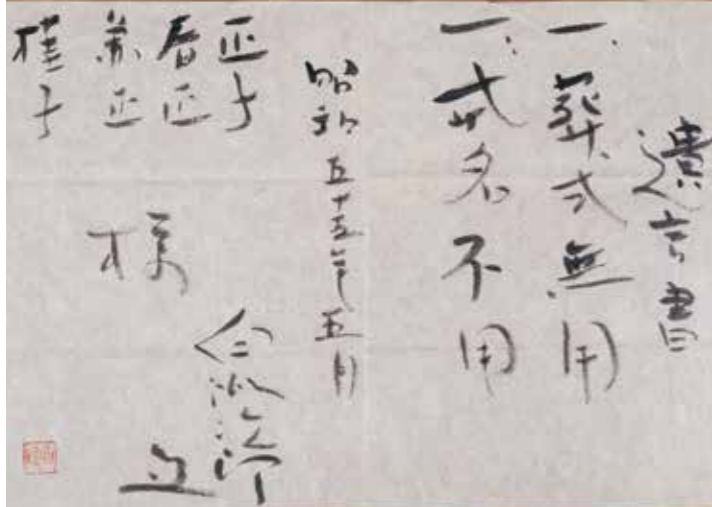
[主催] 鹿児島市、公益財団法人かごしま教育文化振興財団、朝日新聞社 [共催] 鹿児島市教育委員会 [特別協力] 旧白洲邸 武相荘 [後援] 鹿児島県教育委員会、鹿児島県連合校長協会、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKK鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ

【新型コロナウイルス感染症対策へのお願い】○ご来館の際は、来館者カードの記入、手指消毒、検温、マスクの着用にご協力をお願いします。○会場内の密を避けるため、入場制限を行う場合がございます。○感染拡大状況により中止する場合がございます。○最新の情報は館ホームページでご確認、またはお問い合わせください。

かごしま近代文学館

〒892-0853
鹿児島市城山町5番1号
TEL) 099-226-7771
www.k-kb.or.jp/kinmeru





1.



3.



4.



5.

白洲次郎

Shirasu Jiro / 1902 - 1985

1902(明治35)年、兵庫県生まれ。神戸一中(現・兵庫県立神戸高校)卒業後、イギリスに渡り、ケンブリッジ大学に入学。戦前、吉田茂の知遇を得る。1943(昭和18)年、日本の敗戦と食糧危機を見越して鶴川村(現・東京都町田市)に転居し、終戦まで農業に勤む。1945(昭和20)年、吉田茂に請われて終戦連絡中央事務局参与に就任し、日本国憲法の成立に深くかかわる。貿易庁長官に就任し、通商産業省を誕生させる立案者の中心的人物となる。以後、東北電力会長などを務めた。1985(昭和60)年死去。



2.



6.

ぼくの発想の泉であり理想この上ない君に

本の復興に奔走した次郎の史料も紹介します。随筆家として数々の代表作を遺した正子の自筆原稿、日本各地を旅した感性で捉えた能や美しい日本文化にまつわる品々なども展示します。

武相荘で暮らした二人の素顔に迫りながら、日本の文化や日々の暮らしのなかの美しさ、心のあり方を見つめていきます。

最愛の人へ



7.

撮影・浅井佳代子(No.3-5,10-12)

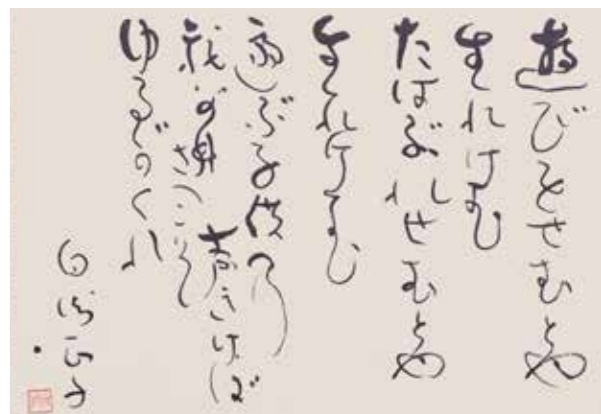
1.白洲次郎 遺言書 / 2.白洲次郎 / 3.福森雅武作 白洲次郎絵付 鉄絵湯呑 / 4.軽井沢ゴルフ倶楽部「PLAY FAST」Tシャツ / 5.次郎のゴルフクラブセット / 6.婚約時代に互いに贈った次郎のポートレート / 7.婚約時代に互いに贈った正子のポートレート / 8.武相荘(外観) / 9.白洲正子 / 10.シャネル スーツ / 11.高田倭男作 能装束風着物 / 12.青山二郎、小林秀雄らの手を経て正子に伝わった唐津盃 / 13.白洲正子 「遊びをせむとや」『梁塵秘抄』



11.



12.



13.



8.

旧白洲邸 ぶあいそう 武相荘

東京都町田市にある白洲夫妻の旧邸宅。武蔵と相模の境に位置することに因み、また次郎独特の一捻りしたいという気持ちから、無愛想とかけて次郎が名付けた。現在、2人が暮らした茅葺き屋根の家は一般公開され、2人の愛用品や正子が愛でた伝統工芸品などの展示、レストラン、カフェ、ショップなどで、白洲家の暮らしを堪能できる。



白洲正子

Shirasu Masako / 1910 - 1998

1910(明治43)年、東京都生まれ。鹿児島出身で政界、実業界で活躍した樺山愛輔伯爵の次女。14歳でアメリカに留学し、1928(昭和3)年に帰国。翌年白洲次郎と結婚。戦後は青山二郎、小林秀雄らと親交を結び、審美眼と文章力を徹底的に鍛えられ、骨董、文芸の世界に没入する。銀座に染織工芸の店「こうべい」を営み、多くの作家を見出す。随筆家として数々の執筆活動を行い、『能面』で第15回、『かくれ里』で第24回読売文学賞を受賞。ほか『明恵上人』『十一面観音巡礼』など著書多数。1998(平成10)年死去。



10.

関連イベント [イベントに関して注意事項] ※新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更・中止する場合がございます。最新の情報は館ホームページでご確認、またはお問い合わせください。 ※申込専用サイトから申し込まれた方は、当選者のみご連絡いたします。

Event 01 「白洲次郎と白洲正子について」

出演 | 青柳恵介氏(古美術評論家)
金子直樹氏(MIHO MUSEUM学芸員、本展監修者)
牧山圭男氏(旧白洲邸 武相荘館長)
日時 | 10月29日(土)14:00 ~ 15:30
定員 | 40名(超えたら抽選)
会場 | メルヘンホール
参加費 | 特別企画展観覧券(一般600円、小・中学生300円)が必要
申込 | 館ホームページの申込専用サイトか往復はがき
申込事項 | 参加者全員の名前、ふりがな、年齢、住所、電話番号、イベント名
締切 | 10月7日(金)必着



Event 02 「随筆家 白洲正子の作品について」

講師 | 石田忠彦氏
(鹿児島大学名誉教授、かごしま近代文学館アドバイザー)
日時 | 11月20日(日)14:00 ~ 15:30
定員 | 40名(超えたら抽選)
会場 | メルヘンホール
参加費 | 特別企画展観覧券(一般600円、小・中学生300円)が必要
申込 | 館ホームページの申込専用サイトか往復はがき
申込事項 | 参加者全員の名前、ふりがな、年齢、住所、電話番号、イベント名
締切 | 10月31日(月)必着



Event 03 薩摩琵琶による弾奏と朗読

鹿児島県指定無形文化財の薩摩琵琶の弾奏と白洲正子作品の朗読
出演 | 鳥津義秀氏(薩摩琵琶弾奏家、精茅神社宮司)
浜本麗歌氏(朗読家)
日時 | 11月27日(日)10:30 ~ 12:00
定員 | 35名(超えたら抽選)
会場 | メルヘンホール
参加費 | 特別企画展観覧券(一般600円、小・中学生300円)が必要
申込 | 館ホームページの申込専用サイトか往復はがき ※QRコード
申込事項 | 参加者全員の名前、ふりがな、年齢、住所、電話番号、イベント名
締切 | 11月4日(金)必着



Event 04 ギャラリートーク

日時 | 11月12日(土)13:30 ~
定員 | 10名(先着)
会場 | 特別企画展会場内
参加費 | 特別企画展観覧券
(一般600円、小・中学生300円)
が必要
申込 | 不要

Event

かごしま近代文学館特別企画展 白洲次郎生誕120周年記念特別展

白洲次郎・白洲正子 武相荘折々の暮らし

関連イベント

※詳細は中面をご覧ください

Event 01 鼎談
「白洲次郎と白洲正子について」
10月29日(土) 14:00 ~ 15:30

Event 02 文学講座
「随筆家 白洲正子の作品について」
11月20日(日) 14:00 ~ 15:30

Event 03 演奏・朗読
薩摩琵琶による演奏と朗読
11月27日(日) 10:30 ~ 12:00

Event 04 展示解説
ギャラリートーク
11月12日(土) 13:30 ~

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更・中止する場合がございます。最新の情報は館ホームページでご確認、またはお問い合わせください。※申込専用サイトから申し込まれた方は、当選者のみご連絡いたします。

Access map



交通のご案内

鹿児島中央駅から
市電:2系統鹿児島駅行き「朝日通」下車、徒歩7分
バス:天文館、市役所方面行き「金生町」下車、徒歩7分
カゴシマシティビュー:「西郷銅像前」下車、徒歩3分

鹿児島空港から
リムジンバス:鹿児島市内行き「金生町」下車、徒歩7分
高速自動車道をご利用の場合:鹿児島北インターチェンジより
鹿児島市内方面へ約15分

駐車場のご案内(無料)
来館者用駐車場:13台(軽9台、一般車2台、身障者用2台)
近代文学館メルヘン館・美術館共用駐車場:普通車31台
※駐車券を総合案内までお持ちください。



かごしま近代文学館

〒892-0853 鹿児島市城山町5番1号

[TEL] 099-226-7771 www.k-kb.or.jp/kinmeru



※=撮影・浅井佳代子 [上段]ジェームス・ロック製ソフト帽(※) [2段目左から]十字文紋旗指物/榊山家伝来の宮廷装束(※) [3段目]次郎と正子 1985年秋 [下段左から]白磁桃形水滴(※)/正子の母・常子の揉紙夏秋草文帯(※)